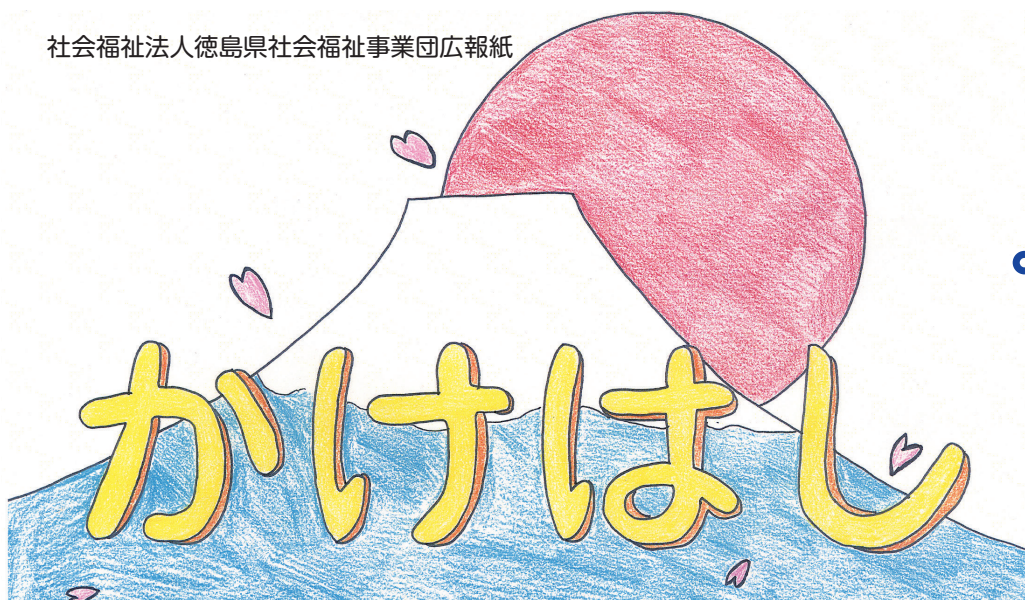




これらの行事を通じて、子どもたちは日本の伝統文化に触れ、希望にあふれる新しい一年を楽しくスタートすることができました。

それぞれが目標を掲げ、理想の自分に近づくために全力を尽くす一年になるでしょう。私たち職員は、本年も子どもたちの成長を温かく見守り、安心して過ごせる環境づくりを一層推進してまいります。

初詣では神社を訪れ、子どもたちが一年の健康と幸せを祈ります。獅子舞の演舞を行い、その迫力ある動きで新年の幸運を願います。逃げ惑う年少児の姿や、嬉しそうに近づいてくる児童など、微笑ましい光景です。

また、おせち料理を食べ、伝統的な料理を味わうことができました。さらに、新春会では、伝統の遊びやビンゴ大会の景品に大いに盛り上がりました。

障害児入所施設「未来」では子どもたちが新年を楽しんで迎えられるよう、様々な新春行事を実施しています。

「未来」2025年
新春を迎えて

新年のご挨拶

社会福祉法人

徳島県社会福祉事業団

理事長 清重 健次

新年あけましておめでとござい
ます。皆様におかれましては健やか
に新春をお迎えのこととお慶び申し
上げます。

平素より、当事業団に対し多くの
皆様から温かいご支援とご協力を
賜っておりますことに改めまして厚
く御礼申し上げますとともに、本年
も、利用者の皆様、ご家族の皆様、
そして地域住民の皆様へ寄り添い、
質の高い福祉サービスを提供するた
めに、職員一同尽力してまいります。

さて、私たちを取り巻く社会は常
に変化を続けています。少子高齢化
の加速、労働人口の減少、そして多
様化する福祉ニーズなど、様々な要
因が複雑に絡み合い新たな課題を突
きつけています。これらの課題に立
ち向かうためには、私たちも変化を
恐れず、新しい時代に対応できる組
織へと生まれ変わることが求められ
ています。

本年は、特に「人材」に焦点を当て、
職員一人ひとりの能力を最大限に引
き出し、やりがいのある職場環境を
創出することで、より質の高い福祉
サービスを提供できるよう努めてま

いります。具体的には、若手職員の育
成を強化し、将来を担う人材を積極
的に登用するとともに、中堅・ベテラン
職員のノウハウを活かして、組織の
活性化を図りたいと考えています。

また、DX（デジタルトランス
フォーメーション）の推進も重要な
課題です。ICTを活用することによ
り、業務の効率化を図ることによ
り、サービスの質の向上を目指しま
す。例えば、勤怠管理システムや見
守りセンサーの導入、AIを活用し
たデータ分析など、様々な取り組み
を検討していきます。

さらに、イノベーションを促進す
るために、職員の自由な発想を大切
にし、新しいアイデアを積極的に取
り入れていきたいと考えています。
職員が主体的に仕事に取り組めるよ
う、風通しの良い組織文化を醸成し、
失敗を恐れずに挑戦できる環境を整
備していきます。

これらの取り組みを通じて、私た
ち社会福祉法人徳島県社会福祉事業
団は、地域社会に貢献できる存在で
あり続けたいと考えています。職員
一同、新たな気持ちで、この一年を
力強く歩んでまいりますので、変わ
らぬご支援を賜りますよう、よろし
くお願い申し上げます。

終わりに、皆様の健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げ、新年のご挨
拶とさせていただきます。

所属長の皆様に、新年の抱負をお伺いしました。

今年の抱負

新年の抱負

前後際断
ー現在に最善を尽くすー

所長 西條 美鈴

新年の抱負

今日は好日
今日という日が晴れても雨でも
どんな日であろうと素晴らしい一日です

事業部長 相原 佳子

新年の抱負

元氣はつらつ！
利用者・職員共に

上席施設長 井後 浩二

新年の抱負

義理と人情

事務部長 中山 一久

新年の抱負

適度な運動で
健康維持

所長 平田 清美

新年の抱負

健康第一

事務局長 櫻田 憲司

新年の抱負

運動不足を
解消して
健康的に過ごす

管理部長 岡崎 譲治

新年の抱負

元氣に
活動する

施設長 麻植塚 佳彦

新年の抱負

成長と変化

所長 篠原 崇

全事協中国・四国ブロック研修会開催

全国社会福祉事業団協議会の令和6年度中国・四国ブロック研修会を、11月28日に、徳島市の阿波観光ホテルで開催しました。

「サステイナブルな社会福祉法人を目指すには」をテーマとして、中国・四国の社会福祉事業団の職員約40人が参加しました。

研修内容は、少子高齢化により福祉サービス等の担い手不足が懸念される2040年問題の打開策として、「外国人材の活用」と「テクノロジーの活用」の2点としました。

第一部は「外国人材の活用」について、徳島市のNPO法人ミトラ・セタラの理事長で特定社会保険労務士の細谷裕重氏に講演していただき、外国人雇用の現状と検討ポイント、外国人材の受入れ準備等の話を

していただきました。

第二部は「介護現場におけるテクノロジーの活用の現状」について、北九州市介護ロボット等導入支援・普及センターの樽本洋平センター長に講演していただき、テクノロジーの導入は業務改善とセットで取り組むこと、業務を効率化しつつ、ケアの質を向上させることが重要との話をいただきました。

研修会のあと、各社会福祉事業団職員と両講師に参加していただき、意見交換会を開催しました。

また、希望の郷、未来、ふらっとKOKUFU（ラクリエ）の利用者様の絵をデザインしたエコバッグを参加者への記念品としてお渡ししました。



理事長



細谷講師



樽本講師

衛生推進委員会の活動について

衛生推進委員会は法人職員の心身の健康障害防止・労働災害防止・心身の健康保持増進・健康教育を目的に活動しています。

月1回の委員会には産業医も参加し、各事業所の状況（休職者・長時間労働者の発生状況等）についての情報共有や産業医による講話・健診結果の個人面談も行っています。委員は衛生管理者免許を持つ看護師や衛生推進者研修を受講した公認心理士・作業療法士・相談員・支援員・主事などです。

毎年メンタルヘルス研修・ストレスチェック・ストレスチェック後の集団分析・職場環境改善・ハラスメント研修を実施しています。今年は、ハラスメント意識調査を行い、結果を基に研修を開催しました。

本年度より社会保険労務士と顧問契約を結び、社会保険労務士による「メンタルヘルス・治療と仕事・ハラスメント外部相談窓口」を設置しています。また、法人内に「身近な相談窓口」を開設。相談窓口を拡充し、職員が気軽に相談できる体制づ

くり努めました。厚生労働省が推進している「第14次労働災害防止計画」の中の重点対策「労働者の健康確保対策の推進（メンタルヘルス・過重労働・産業保健活動）」に取り組み、働きやすい職場環境づくりを目指して活動しています。

職員が心も体も健康な状態でこそ、利用者様やご家族様、地域の皆様に上質なサービスを提供することができると考えています。衛生推進委員会はこれからも健康で働き続ける事のできる、笑顔あふれる法人を目指してまいります。



メンタルヘルス研修受講の様子

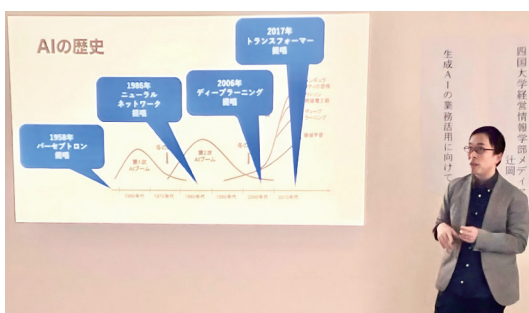
生成AIの業務活用に向けて 法人内研修を実施しました

深刻な人材不足が予想される2040年に向け、当法人はより良いサービスを提供し続けるため、対策を急がなければなりません。その一つに、DX化による業務効率化を掲げ、イノベーション推進部を中心に取組を進めています。

令和6年12月13日、連携協定を提携している四国大学経営情報学部メディア情報学科の辻岡教授をお招きし、生成AIの業務活用に向けた法人内研修を行いました。

講義では、生成AIは文章の要約や形成が得意なため、議事録、活動日誌、相談等の記録作成で、利活用できるのではないかと提案をいただきました。また、情報の流出に留意すること、誤った内容を使用しないよう人の目で確認することが大切とのご指導をいただきました。

参加した職員からは、実際に使ってみることが大事だと感じた、会議録作成時に生成AIを活用してみたい等、前向きな感想がありました。今後も、同テーマについて勉強を続け、業務効率を実現させることによって、利用者の皆さまへきめ細かなサービスを提供してまいります。



講義の様子



質疑応答の様子

イノベーション推進部リクルートチーム 「福祉人材確保への取り組み」

イノベーション推進部リクルートチームでは、大学生等の新卒者確保のため、PR活動等、福祉人材の採用に向けた取り組みを法人内各事業所と連携して進めています。

令和6年度は、8月19日「福祉就職転職ガイダンス2024」、12月4日「四国大学学内企業研究会」に出展し、各事業所から選出された職員が、広報ツールの制作など準備段階から関わり、イベント当日もブリス説明を担当しました。これらの取り組みにより、当法人の仕事の魅力を効果的にアピールすることができるようになり、職員採用試験の応募者増にもつながっています。

少子高齢化が進む時代において、人材確保は法人の最優先課題となっています。独立行政法人福祉医療機構による「2023年度障害福祉サービス等の人材確保に関する調査について」によると、職員の充足状況について、半数以上の障がい福祉サービス等事業所が「職員不足」と回答しています。今後、超高齢化社

会を迎え、社会福祉法人の存立が問われる状況が目前にしている今、福祉のプロフェッショナルである法人職員の確保について、これからも前向きに取り組んでまいります。



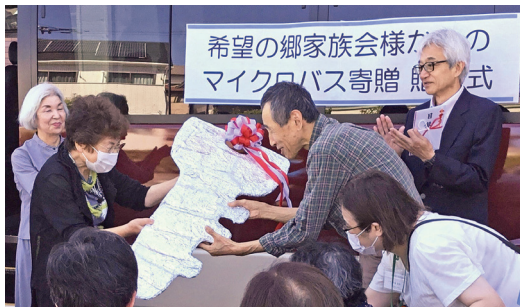
四国大学学内企業研究会



広報ツール

障害者支援施設

希望の郷



マイクロバス
希望の郷家族会様から寄贈いただきましたマイクロバスの贈呈式と感謝状贈呈式を執り行いました。

マイクロバスの贈呈式

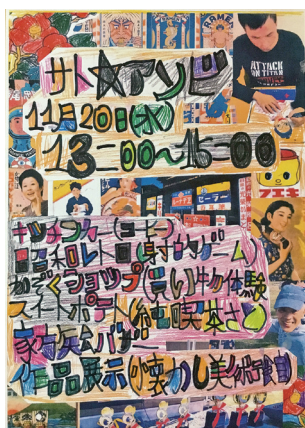
9月20日（金）希望の郷家族会様から寄贈いただきましたマイクロバスの贈呈式を執り行いました。当日は利用者様にもご参加いただき、素晴らしい式典となりました。ドライブや行事、買い物やお出かけなど、大切にに使わせていただいております。乗り心地もよく、皆さん大変喜んでおられます。



11月20日（水）マイクロバスの贈呈を受け、感謝状贈呈式を執り行いました。理事長から家族会会長へ感謝状をお渡ししました。

感謝状贈呈式

車体カラーは利用者様の投票により1位になりましたきれいな赤色です。



家族会バザー

サト★アソビ
今年度2回目のサトアソビが11月20日（水）に開催されました。今回のテーマは「昭和レトロ」飾り付けから催し物まで昭和時代にタイムスリップしたようでした。



キッチンカー



かぞくショップ



射的ゲーム



スイーツポテト



未来

未来での日常生活の様子をお伝えしたいと思います。

おやつ時間



お手伝い頑張る！



余暇時間

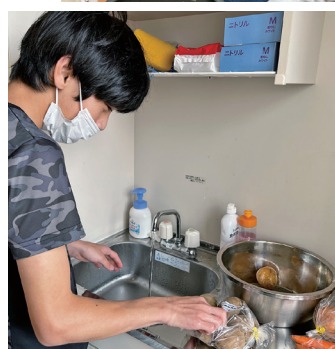


未来では、自分でできることはできるだけ見守る支援を心がけています。

難しいことは前向きな声かけを行い、やる気に繋がるような支援に努めています。

また、「皆の力になりたい」という気持ちを大切に、お手伝いの係りを決めて、各自責任を持って取り組んでいます。休日には、調理にも取り組み、出来ることがどんどん増えて、表情も自信に満ちています。

余暇時間



自立・支援



棟内クッキング

ふらっとCafe (地域共生)

「ふらっととKOKUFU3周年感謝祭」

「ふらっととKOKUFU3周年感謝祭」を未来や地域の方と連携して令和6年10月5日に開催しました。開催にあたり、今年も株式会社フジ様よりたくさんのお菓子やジュースをいただきました。

地域の方にも馴染みのあるイベントになってきており、748名の方に来場していただきました。国府支援学校、国府中学校、国府町商工会青年部等、地域の様々な方に協力していただき、あらためて「つながり」の大切さを実感したイベントとなりました。



ふらっとホーム

ふらっとホーム・希望ホーム合同日帰り旅行

今回は、利用者の皆様にアンケートを実施し、両ホームで一番希望が多かった『須磨シーワールド』に行きました。圧巻のシャチやイルカのショー、食べたら美味しそうなお魚の鑑賞等、時間ギリギリまで楽しみました。



希望ホーム

希望ホーム総勢19名神山温泉に行ってきました

去る11月、秋らしくなった神山温泉で、温泉とお食事を楽しみました。送迎バスで出発し、到着後、大きなお風呂に浸かり日頃の疲れを癒しました。

宴会場では、楽しみにしていたお料理を堪能し、皆で阿波踊り体操、ドリフターズの「いい湯だな」を合唱し、十八番のカラオケを唄い、久しぶりの外食行事に満足した様子でした。



児童デイ フラット未来

徳島新聞特命課の訓練生になりました

児童デイでは、夏季休暇に課外活動として『徳島新聞印刷センター』へ見学に行きました。みんなで特命記者として、徳島新聞の謎を解明すべく、工場内をくまなくまわり、様々なミッシヨに挑戦しました。

普段なかなか見ることができない新聞の秘密をたくさん知る事ができ、子ども達も興味津々な様子でした。



相談支援事業所きぼう

実習生受け入れについて

大学や各相談支援事業所から、定期的に実習生の方をお受け入れしています。皆様と接することで新しい情報等を得ただけ、とても良い刺激になっています。今後も継続していけたらと思っています。



ワーク&デイ ラクリエ

「障がい者が繋ぐ地域の暮らし〜ほっとかない事業〜」

障がいのある人たちが、やりがいを持って働くことのできる場の創出。また、限界集落における高齢者等の日常を支える手段の確保。この2つの課題を解決するため、移動販売車を使ってお弁当の販売を開始しました。



「エナジー2024受賞」

第30回徳島障がい者芸術祭「エナジー2024」に、ラクリエより25点の作品を出展することができました。

いずれも好きな事や得意な事を活かした個性あふれる作品ばかりでした。

また、応募総数約380点の作品の中からラクリエ利用者3名が受賞され、嬉しいニュースとなりました。



(右から)
「ボクの世界〜数字の森 VI〜」 森本 英一 かみなづき賞
「誇れる景色」 寒川 日出夫 未来社会作品賞
「魚です」 ハセガワ カイト エナジー賞

障がい者交流プラザ

★★ 第19回 ★★
交流プラザフェスタ

令和6年9月15日（日）、徳島県立障がい者交流プラザにて「第19回交流プラザフェスタ」を開催しました。特別支援学校の生徒による発表会やマル

シエ、希望の郷のキッチンカー、パラスポーツ体験、警察車両展示等、多彩なプログラムを用意し、昨年度を上回る3,500人以上の方々にご来場いただきました。皆様のご参加、誠にありがとうございました。



徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター

「あなたのアートで彩る2025年」

カレンダー用イラスト募集

当センターでは、今年度初めてカレンダーのためのイラストを県内在住の障がいのある方々を対象に募集をしたところ、176名の応募がありました。審査の結果、優秀賞12点、入選17点が選出され、2025年のカレンダーに掲載いたしました。

12月13日（金）には、徳島県立二十一世紀館イベントホールで表彰式を開催し、約80名の方々にご出席いただきました。式の最後に審査をしてくださった徳島大学総合科学部准教授の田中佳先生から「選びたい作品がまだまだたくさんあった」「季節の表現の仕方に驚かされた」「今後も続けて作品を見てみたい」という心温まるご講評を賜りました。

カレンダーは、障がい者アートのすばらしさを広く知っていただくために県内の企業・団体等に配布させていただきます。また、当センターのホームページで、月ごとに紹介していく予定です。ぜひ、お楽しみに！

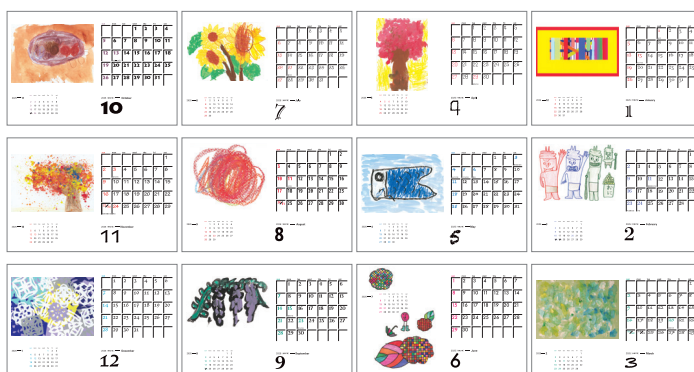
ホームページはこちら



賞状授与の様子



田中先生による講評



「あなたのアートで彩る2025年」カレンダー表紙



パラスポーツ協会

第23回全国障害者スポーツ大会

「SAGA2024」

徳島県メダル獲得数、これまで最多の23個!!

令和6年10月26日から28日に佐賀県で開催され、徳島県からは個人競技22名、団体1競技7名の選手が熱い戦いを繰り広げました!!



Re：ハビリテーション部

空間認知リハビリ

リハビリ専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）は、法人内の各拠点に向き、利用者様の身体機能の強化や改善に努めています。写真（左部）はボールをドリブルしながら歩き、ボールの空間認知を把

握している様子です。歩く速度やボールを床に突くタイミングやコントロールが必要になります。このように、楽しい遊びを交えながら、健康な身体作りに努めています。



視聴覚障がい者支援センター

令和6年度 みえない・みえにくい方向け きこえない・きこえにくい方向け 福祉機器展の開催

令和7年1月12日、徳島県JA会館にて、令和6年度福祉機器展、第11回徳島ロービジョンネットワーク講演会を開催しました。

午前中は、公益社団法人NEXT VISION代表理事 仲泊 聡氏に、「ロービジョンケアの課題と未来」オンラインロービジョン外来の紹介や人工視覚について」という演題でご講演いただきました。

ロービジョンケアとは補助具の紹介や選定、その他様々な支援についての情報提供を行うことで、疾患の治療とは別に、患者の見えにくさや日常生活の不自由さを改善することを目的としたケアです。これをオンラインで行う取り組みが紹介されました。人工視覚は世界各地で研究が進められており、国内でも実用化に向けてプロジェクトが進行中であることも合わせて紹介されました。

福祉機器展は、視覚、聴覚を合わせて20の業者や団体に出展いただき



福祉機器展



ロービジョン講演会

ました。各業者や団体から数多くの視覚支援、聴覚支援の機器などを紹介いただきました。この情報が少しでも皆様のお役に立つことがあれば嬉しい限りです。

技術の発展と共に、ICTを活用した支援機器の存在は障がい者の生活においてなくてはならないものになると考えています。その活用が社会的自立の促進に繋がり、より充実した生活が送れるよう、私達も支援に努めてまいります。

徳島県立総合福祉センター

ジョイントコンサートが開催される

子ども達の音楽と絵画のセッション

令和6年11月24日、徳島県立総合福祉センターホールにおいて、地域貢献事業の一環として、地元の子ども達が日々取り組んでいる音楽演奏や絵画制作の発表の機会を設け、情操教育や向上心を高めることを目的に「ジョイントコンサート」が開催されました。

当日は、会場満員の120名を超える来場者がある中、新町小学校の金管バンド部の演奏、昭和小学校のブラスバンド部の演奏に続き、フイ



ナーレは、両校の先生も加わり、見事な合同演奏が奏でられました。また、アンコールにのちの演奏の後には、両校生徒による交流会

や抽選会が行われ、終始和やかなジョイントコンサートとなりました。

来場者からは、「子ども達の健やかな成長とさらなる意欲向上に繋がするため、是非続けてほしい」とのご意見をいただいたところです。

また、1階展示ホールでは、富田幼稚園と昭和保育所の「こども絵画作品展」が同時開催され、10日間の展示期間中は多くの来場者で賑わいました。

当センターでは今後とも、ジョイントコンサートのほか、地域の防災力向上や健康づくり講座等を通じて地域貢献に推進して参ります。



フレッシュユマン紹介

①職名 ②抱負・コメント

ワーク&デイ ラクリエ

富士多英子



①パート職員
②利用者様とのコミュニケーションを大切に頑張りたいと思います。よろしく願います。

森田郁子



①臨時支援員
②1月より勤務させていただいております。利用者様に寄り添った支援ができるよう頑張ります。

ふらっとホーム

宮本富美代



①パート職員
②皆様と共に寄り添い、成長し、つながりを大切に行きたいと思ひます。よろしく願ひします。

未来

松島 茜



①臨時児童支援員
②9月より未来で勤務させて頂ひます。早く仕事を覚え、勉強しながら頑張つていこうと思ひます。

パラスポーツ協会

大西あかり



①指導員
②パラスポーツの普及促進に努め、地域・人とのつながりを大切に取組んでいきます。

島崎希美



①指導員
②誰もが参加し、一緒に楽しさを共有できるインクルーシブスポーツの推進づくりに努めていきます。

視聴覚障がい者支援センター

網野泰江



①パート支援員
②歳を重ねてからの勤務。だからこそできることがあると頑張ります。よろしく願ひ申し上げます。

プラザ

太田修司



①会計専門員
②9月より会計専門員として勤務させて頂ひたひています。よろしく願ひします。

事業団への寄附金等

(令和6年4月〜令和7年2月) ※順不同

希望の郷

希望の郷家族会

マイクロボス

徳島県共同募金会

八五、〇〇〇円

ふらっとKOKUFU

小谷 敏弘

一〇〇、〇〇〇円

三和空調(株)

HVAC事業部四国支店

九〇、〇〇〇円

パラスポーツ協会

(株) 建設マネジメント四国

一〇〇、〇〇〇円

三和電業(株)

一八三、〇〇〇円

とくしまマラソン実行委員会

四七七、〇四六円

徳島吉野川ライオンズクラブ

一〇、〇〇〇円

障がい者芸術・文化活動支援センター

阿波総合開発(株) 徳島カントリー倶楽部

一〇〇、〇〇〇円



ペンの樗



視聴覚障がい者支援センターで生活訓練事業を主に担当しています。生活訓練事業では主に視覚に障がいがある方への生活相談や「視覚障がいリハビリテーション」を実施しています。「視覚障がいリハビリテーション」、聞きなじみのない言葉かと思いますが、白杖を使った歩行方法の習得や点字の読み書きの習得、スマートフォンやパソコンを音声読み上げ機能を使って操作する技術の習得など、視覚に障がいがある方が見えない・見えにくくても日常生活を豊かに暮らせるよう、必要な技術の習得や情報提供を行い、支援しています。利用者が一人でできることが増え、元気になっていく姿が、私の仕事をやる上での活力となっています。災害時の支援や高齢視覚障がい者の支援など課題は山積していますが、これからも課題に向き合い、新しい取り組みに挑戦していきます。

視聴覚障がい者支援センター 主任支援員
阪井 紀夫



題字デザイン者

YAMATO (未来) インタビュー

表題デザインにチャレンジしたきっかけは、栄養士の先生からの紹介でした。

絵を描くことが得意で、これまでと違ったカテゴリーの新しいことに挑戦することで、これまで以上の成果が得られるのではないかと思います、取り組みました。

日の丸、富士山、桜をデザインした理由は、富士山はどの季節にも対応することができ、更に季節に合ったものを合わせることもできるのでこのデザインにしました。文字の色は、全体のバランスを考えた上で、この色合いが今の季節に合っていると思いました。影を作ることによって字の立体感が増し、より綺麗な仕上がりになることをイメージしました。

想像していた以上に難しかったです。今の季節やテーマに合ったデザインができ、新感覚を楽しみながら取り組めたので良かったです。



朝倉 陽一

(希望の郷 支援員)

Q1 今の仕事を選んだ理由は？

A 支援を通じて、障がいを持つ方の人生を豊かにするサポートができるところに魅力を感じたからです。

Q2 今の仕事で楽しいと思うのは

どんな時ですか？

A 自分たちでやり遂げたイベントなどが、「またやりたい」と言ってもらえた時です。

Q3 好きな休日の過ごし方は？

A 最近、実家で飼い始めた猫を愛でることが好きです。

Q4 幸せを感じる瞬間は？

A 激しい運動を終えた後の糖分摂取!! (運動が楽しめる身体に戻りたい...)



職員インタビュー

吉積 路子

(徳島県地域生活定着支援センター 専門支援員)

Q1 今の仕事を選んだ理由は？

A 持っている資格(簿記)を生かす事ができるからです。

Q2 今の仕事で楽しいと思うのは

どんな時ですか？

A 書類作成や会計処理時、仕事を1つずつこなすことで成果が目に見えて積み重なっていく所に達成感があります。

Q3 好きな休日の過ごし方は？

A 子供のスポーツ観戦やパン屋めぐりが好きです。

Q4 おすすめのパン屋は？

A 藍住町のリュスティックや北島町のキタジマベーカリーです。

